

2月定例会 議員提案で「奥州白石温麺振興条例」を制定

ういめん

平成26年2月定例会は、2月13日から3月3日までの19日間の日程で開催されました。市長提出議案は、条例等12件、人事1件、予算12件など計25件と、議員提出議案として「奥州白石温麺振興条例」が提案され、これらの議案については、常任委員会、予算審査特別委員会に付託して審査を行いました。

一般質問では6名の議員が質問に立ち、当局の考えを質しました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、第8号議案から第11号議案及び第20号議案については、反対及び賛成の討論があり、(14ページの討論をご覧下さい。)表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決し、その他の議案については、いずれも全会一致で、原案のとおり可決しました。

また、第26号議案から第29号議案までの4議案が最終日に追加提案され、質疑を経て表決の結果、全会一致で同意、可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案のおもなものは次のとおりです。

◎議提第1号・奥州白石温麺振興条例

本条例制定の背景を申し上げますと、白石温麺は白石3白の一つとして40年以上の歴史があり、古くから体に優しい食品として市民のみならず多くの方々々に愛されてきた食品である。

また、数年前からういめん体操が当市幼稚園・保育園の園児たちによって、運動会や農業祭、また市民体育大会などの行事でも披露されており、それらを裏づけるように当市

ホームページにアップされているういめん体操の動画は、昨年3月28日の公開からわずか11ヶ月足らずで8万1千回以上のアクセスをカウントしている。

これらの背景から、今議会で奥州白石温麺振興条例を制定し、市の役割、事業者の役割、市民の協力を明文化し、さらに白石温麺の日(毎月7日)を制定することにより、これまでの歴史が育んできた伝統ある食文化を後世に伝承していくことと、さらなる白石温麺の普及促進と地場産業振興、そして、地域経済の発展を目指す本条例を制定いたそうとするものである。

2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第1号	市長提案 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第2号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
第3号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	原案可決
第4号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	原案可決
第5号	物品購入契約の締結について	原案可決
第6号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第7号	白石市中小企業振興基本条例	原案可決
第8号	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第9号	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決
第10号	白石市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	白石市新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決
第13号	白石市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決